入院患者調査事業（骨子）

健康増進課

１．目的

①退院後の社会復帰に対する課題や社会復帰に向けたニーズの把握

②県及び市町村障害福祉計画の進捗状況へ反映

③地域における基盤整備の遅れ、家族支援のあり方について検討

※平成２２年度以降の県精神保健福祉施策へ反映させる基礎資料とする

２．実施主体：奈 良 県

３．調査方法

①庁内（健康増進課・障害福祉課・保健所等）で調査検討会を立ち上げ

・仮説、調査票、調査分析の手法等を検討

②各精神科病院へ調査票記入の協力依頼

・客観的なデータを得ることが必要となるため、本人アンケート方式ではなく、主治医や看護スタッフ・ＰＳＷ等、本人の治療や支援に従事している病院職員へ記入をお願いする。

※謝金：１，２５０円×人数

③調査集計

・社会福祉系学部、学科を設置している大学へ集計を依頼

※謝金：６，８６０円×日数

④フォローアップ調査

・居住系、訪問系、通所系等の障害福祉サービスの基盤整備や家族支援の強化等が必要な者で、本人の同意を得ることができた人については、県精神保健福祉担当職員（健康増進課、保健所等）が帰来地の市町村や障害福祉サービス事業者、家族等へ聞き取り調査を実施する。

⑤分析

・庁内検討会で調査データの分析

市町村等へ必要なデータの情報提供を行う

※謝金：助言者：２１，５００円（大学准教授クラス）×６日

４．留意事項

本人、医療機関を特定できないようなデータ処理を行う。